



2011. 3月

会派 爽風

議会報告
第 10 号

〒379-0114 群馬県安中市野殿 919
TEL/FAX 027-382-3341

もてき 茂木ひでこ

<http://www5.wind.ne.jp/moteki-hideko/index.htm>

このたびの「東日本大震災」により被害にあわれた方々に 心よりお見舞いを申し上げます

この度の「東日本大震災」では未曾有の被害がもたらされ、現在も断続的に起きる余震や停電、原発の恐怖等まだまだ不安な日々が続いています。群馬県でも被災地への支援、被災者の受け入れ等が始まりました。また、民間団体や個人を通じて、さまざまな形で支援が広がっています。

私も避難所などで必要な物資の発送作業を行い、NPO団体を通じ、3月16日に被災された皆様のもとに送らせていただきました。

今回の震災では被災地から遠く離れて暮らす私たちも決して無関係ではられません。今、出来ることは何かを考え、行動を起こす事が求められています。“人を救うのも、支えてゆくのも人です”人間関係が希薄になりつつある今、改めて人と人との結びつき、絆の大切さを再度、確認し合い、どんな事があっても負けない地域をつくって行きましょう。

さて、私、茂木英子はお陰様をもちまして、任期最後の定例議会を無事終了することができました。今日まで皆様方に様々な形で支えていただきました事に心より感謝申し上げます。

この4年間、皆様の声が数多く実現し、今、改めて一般質問や委員会での提案などの大切さを痛感しています。これからも頑張っまいますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。 茂木英子

～ 23年度 さらに実現 ～

H23. 4月
実現

安中市民の健康を守る
西部保健福祉事務所安中支所が
**安中保健福祉事務所に
格上げされます!!**

(H22. 5月議会、H23. 2月議会で一般質問)



実現

買い物弱者対策

日常の買い物に支障をきたす「買い物弱者」対策に取り組む試みを支援します

実現

**前橋安中富岡線
線形改良**

安全性を高めるため、県道の改修を行います。

実現

地域防災力パワーアップ支援

自主防災組織の結成など地域の防災力を上げる取り組みを支援します。

実現

☎ #8000

「群馬子ども電話相談」受付時間の拡大

月～土曜 午後7時～翌朝8:00まで
日・祝・年末年始 午前9時～翌朝8:00まで

実現

子宮頸がん予防ワクチン補助

4月から市町村で実施されます

実現

元気高齢者活躍支援

「ぐんま元気・活躍高齢者プラン(仮称)」の策定

実現

ぐんま子ども若者支援地域協議会の設置

子ども、若者たちが抱える問題が深刻化していることから、その支援を協議する場がもうけられます。

実現

小児医療センターの

NICU(新生児集中治療室)を増床します

12床 → 15床 → 17床

実現

DV被害者の自立支援

DV(ドメスティックバイオレンス)被害者への一時的な生活物資の支援や民間シェルターへの補助拡大

実現

うつ病支援事業

精神科医とかかりつけ医との連携強化に向けた取り組みが始まります。

実現

がん対策強化

・がん相談支援・情報提供
・がん医療体制の整備
・「がんに強いぐんまづくり」推進サポーター養成

これからも県政に対するご意見ご要望をお聞かせください。





一般質問の様子

平成23年度2月定例議会



代表質問を行いました

一般質問

児童相談所の体制強化について

※児童相談所とは

18歳に満たない児童を対象とし、広く一般家庭や市町村、学校、警察、児童本人等から保健、虐待、育成、非行、障がい等、様々な相談に応じ、場合によっては児童及びその家庭について、調査、判定、支援を行います。

そして必要な場合は、児童の一時保護や児童養護施設等への入所また、里親等の斡旋などを行っています。

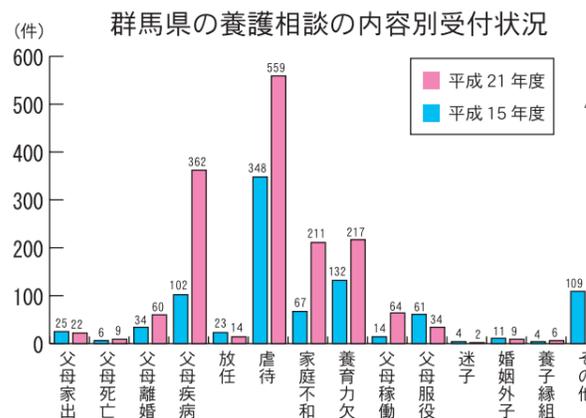
これらの業務に医師、心理士、保育士、保健士、児童福祉司等の専門職員が当たっています。本県には中央、西部、東部の3箇所の児童相談所と中央児童相談所北部支所があります。



平成23年度完成予定の一時保護所

- 社会の不安定さや社会情勢の悪化などが子ども達を取り巻く環境に大きな影響を落としています。相談数の増加、虐待や不登校、いじめ、知的障害や自閉症等相談内容の多様化、そして深刻化、複雑化に伴い、職員には知識や技術などの専門性が求められています。現在、群馬県では、児童相談所の職員構成が「一般行政職」の比率が約9割と高い状況である。複雑、多様化する相談内容が増える中、職員の専門性をより高めるためのスーパーバイザー（実務経験が10年程度あるベテラン職員で職員の教育、訓練、指導を担当する児童福祉司）の設置が必要と考えるがどうか。

本県は福祉関係の専門資格を持つ職員が約1割程度しかいないため、スーパーバイザーが育ちにくい体制があるので、スーパーバイザーの育成ができる体制づくりを働きかけました。



病児、病後児保育の必要性について

- 子供が発熱等の急な病気になり、集団保育が困難であったり、保護者が家庭において子供を看護できない場合に医師の診察のもと、一時的な保育サービスが受けられる病児、病後児保育という事業があります。近年の社会情勢の中、その要望は高まっているので、市町村と協調し、県としてどのような支援ができるのか検討していただき、積極的に取り組んでほしいと要望いたしました。

西部県民局管内の保健福祉行政について

- 一昨年の5月定例会の一般質問につづき、再度質問をさせていただきます。高崎市が23年4月に中核市になった場合、市単独で保健所を設置します。現在の西部保健福祉事務所の再編整備が必要となり、現在の安中支所を機能強化する形での再編を要望いたしました。

茂木ひでこ事務所開設のお知らせ

節電の為、3割程度の照明になっておりますのでご了承ください。

事務所を右記に開設いたしました。お気軽にお立ち寄りください。

■住所■
安中市岩井170-4
(元、金子製作所様)
ユニクロ安中店近く

■電話■
027-382-3341



事務所開きのご案内

日時：4月1日(金)
午後6:00～

場所：茂木ひでこ事務所

☆友人、知人をお誘い合せの上、おでかけください。

ミニ県政報告会を行っています。少人数でもかまいません。茂木ひでこの活動を知ってください。連絡をお待ちしています。

